



コンパス住吉台

TEL : 中学校 090-9148-1396 TEL : 小学校 070-1287-8026

住吉台中学校区
学校支援地域本部だより
2020年度版

NO. 6

令和3年3月18日発行



小学校



★ 図書委員会 内藤以貫賞 ★

毎年6年生は地域の史跡である「内藤以貫の墓」とその人物について「内藤以貫の墓管理保存会」の方々から学んでいます。

「以貫」は伊達藩の儒学者であり、書家でもあり、三国志などの書物にも造詣が深いことから、図書委員会では「保存会」の方の了承を得て「内藤以貫賞」を創設し、多くの本を読んだ児童を表彰しました。表彰にあたっては、図書委員会の児童が賞状を手作りし、まだ学習をしていない学年の児童にもわかるように「以貫」についての紙芝居も作成しました。



★ 6年生 先輩に学ぶ・卒業を祝う餅つき会 ★

1月13日に30年以上続けてきた「卒業を祝う餅つき会について」を反田恵美子さんに、2月10日には校医でもある大澤寛壽先生に「趣味を持つことの大切さについて」の講話をしていただきました。

今年度はコロナ禍で例年通りの「餅つき会」は行えないものの、続けてきた意味や想いをお話していただきました。また、感染拡大を受け、大澤先生にはリモートでの授業をお願いし、子ども時代～お医者様になれるまでのお話、趣味で20年以上描かれている絵や大澤先生の画集をみせていただきました。

P T A本部と6学年委員主催の「卒業を祝う餅つき会」は、開催方法を変え、根白石市民センターの協力を仰ぎ、コンパス住吉台も協力、機械でついた餅を丸め、縁起物と一緒に飾る「だんごさし」として実施しました。また、5年生が自校田で収穫したもち米で作ったお餅を5・6年生に渡しました。



★ 6年生樹木札・オオムラサキハウス看板・環境整備 ★



3月10日、6年生が卒業奉仕活動として校内の樹木に「樹木札」を取り付けました。コロナ禍、例年の清掃奉仕活動の代わりに行われました。

3月1日、名前のわからない樹木は、地域の朴沢さんと朴沢さんのお知り合いの造園業の樋渡さんにご協力いただき樹木名を確認しました。

樹木札は地域のサマサ工房の方々(佐々木さん、松浦さん、佐藤さん)がアルミで札を成型、6年生が樹木名を記入後、カバーフィルムを巻き、取り付けのための針金をつけてくださいました。

また、オオムラサキハウスの看板も作成。樹木札取り付けの10日に6年生の前で看板の除幕式が行われ、12日にハウスの前に設置されました。

今年度、サマサ工房の方々には、飛沫防止ガードの作成や洋式トイレの消毒液置き場の棚作りなど、校内の環境整備に多くのご協力をいただきました。ありがとうございました。



★ マスクで守ろう住小っ子 ★

昨年5月、緊急事態宣言下、マスク不足を解消しようとPTA本部の声掛けで、PTA・小学校・連合町内会・コンパス住吉台の四者で「マスクで守ろう住小っ子」のプロジェクトが立ち上がりました。地域・町内会・保護者の皆様のご協力で多くのサージカルマスクや手作りマスクが集まり、学校再開時には、児童に2枚ずつの手作りマスクを渡すことができました。その後、徐々にマスクの供給も増え、日常生活が戻ってきたこともあり、活動のペースを落としましたが、皆様に寄付いただいたお気持ちのこもった布地のあるうちはマスク作りを継続しようということになりました。コンパス住吉台をはじめとし、学校にお越しいただく機会のあるボランティアさんや保護者の方にご協力いただき、2月末にようやく全校児童の3枚目のマスクが完成しました。3月上旬、PTA本部とコンパス住吉台で袋詰め、クラス分けを行いました。

昨年、4月末に始まった活動は11か月間続きましたが、この間、約50名の方々にマスクを作成していただき、サージカルマスクや生地、ゴムなどを寄付していただいた方と合わせると約60名の方々にご協力いただいたこととなります。地域と保護者と学校が力を合わせる大切さを感じました。ご協力いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。また、地域の宝である子どもたちのために今後とも皆様のご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

